

(様式 1-3)

福島県(南相馬市) 帰還・移住等環境整備事業計画 帰還・移住等環境整備事業等個票

令和 6 年 1 2 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	251	事業名	被災地域農業復興総合支援事業(園芸作物集出荷団地施設整備)南相馬市(基金型)	事業番号	(5)-43-56
交付団体	福島県		事業実施主体(直接/間接)	南相馬市(間接)	
総交付対象事業費	(4,218,878)(千円) 5,575,521(千円)		全体事業費	6,239,961(千円)	

帰還・移住等環境整備に関する目標

<現状>

南相馬市では、震災後、大きく減少してしまった農業従事者や農産物の取扱量を回復させるため、営農再開に向けた支援策を講じてきた。代表的な作物である水稲については、生産支援により再開率が60%を超え、集荷・流通支援としてカントリーエレベーターを整備し、更なる生産力の向上に向けて取り組んでいるところである。

一方、野菜を中心とする園芸作物については、農業機械の貸与や園芸団地の整備など様々な支援策により、生産力は回復傾向にあるものの、増加した作物に対応するための流通機能の整備が追いついていない。また、既存の流通設備は市内に点在しており、集荷・販売が非効率である。

その結果、梱包作業や販路確保等の生産面以外での生産者に対する負担の増加や、鮮度の低下などの問題が生じている。さらに、市内生産者の高齢化が進んでおり、特に高齢者にとってはこれらの負担の影響が大きいため、営農意欲の低下につながっており、生産力の抑制・低下を招いている。

<農業復興に向けた取組>

上記の問題を解消し、帰還・移住を促すためには、生産者の負担を減らし、地元農産物の価値を高く維持したまま消費者に適切に届けることが可能となる効率的な流通基盤を構築する必要がある。

そこで、本事業では、「大規模農家からの集荷と市外への販売を担う集出荷貯蔵施設」「中小規模農業者からの出荷と市内流通を担う卸売市場」「消費者の多様なニーズに合わせた加工を行う農産物加工施設」の3施設を一体的に整備し、以下に取り組むことで、生産者の所得・営農意欲が向上しやすい環境を整え、帰還・移住者の増加、農業の担い手の確保と営農再開を目指す。

- 生産者の負担を軽減し、農業生産に専念できるような効率の良い集出荷システムを構築する。
- 流通・販売事業者が「扱いやすい」形態に加工・パッケージする設備を整備する。
- 鮮度や彩りなどの付加価値を保持したまま届けられるコールドチェーンの仕組みを取り入れる。
- HACCPの考え方を取り入れた衛生管理を行い、地元野菜の付加価値の向上を図る。
- 各施設が協力して様々な情報の収集・分析・提供を行い、生産者の経営を支援する体制を構築する。
- ブロッコリーやねぎといった主要な品目について、集荷施設と加工施設の連携による規格外野菜などの加工出荷を行い、生産者の所得向上を図る。

(事業間流用による経費の変更)(令和6年10月10日)

本件申請にあたり、(5)-43-3 被災地域農業復興総合支援事業(農業用機械施設等)南相馬市から108,172千円(国費81,129千円)、(5)-43-6 農業用倉庫整備事業(葛尾村)から3,720千円(国費2,790千円)、(5)-43-7 胡蝶蘭栽培施設整備事業(葛尾村)から4,784千円(国費3,588千円)、(5)-43-8 被災地域農業復興総合支援事業(乾燥調製貯蔵施設)から8,124千円(国費6,093千円)、(5)-43-9 いいたて まδειな農業復興計画基幹事業(深谷地区)から1,944千円(国費1,458千円)、(5)-43-11 被災地域農業復興総合支援事業(栽培施設等整備事業)大川原地区から42,160千円(国費31,620千円)、(5)-43-12 粗飼料生産流

通拠点施設整備事業（山木屋地区）から 411,504 千円（国費 308,628 千円）、(5)-43-14 被災地域農業復興総合支援事業（農業用施設整備事業）上小埜地区から 78,928 千円（国費 59,196 千円）、(5)-43-15 被災地域農業復興総合支援事業（水稻育苗施設整備事業）下小埜地区から 2,196 千円（国費 1,647 千円）、(5)-43-51 被災地域農業復興総合支援事業（野菜集出荷施設）富岡地区から 2,908 千円（国費 2,181 千円）、計 664,440 千円（国費 498,330 千円）を流用。これにより、交付対象事業費は 5,575,521 千円（国費 4,181,640 千円）から 6,239,961 千円（国費 4,679,970 千円）に増額。

#### 事業概要

上記目標の達成に向け、以下の施設・設備を整備する。

なお、第 49 回申請においては、下記の導入設備の導入費用を申請する（各建物および附帯電気・設備は第 47 回で申請済）。

##### <整備内容>

・ 予 定 地：南相馬市原町区上高平字柳町 地内

・ 敷 地 面 積：約 19,253 m<sup>2</sup>

・ 施設、設備：

##### (1) 集出荷貯蔵施設（約 4,290 m<sup>2</sup>）

大ロットの農産物を集荷し、出荷規格を統一することで、価値を向上させる。また、主に市外へ流通させることで、南相馬市の農業を発信し、知名度の向上を図る。

・ 導 入 設 備：ブロッコリー用製氷機・選別設備、ねぎ選別設備、花き選別設備、予冷库 4 室 等

・ 取 扱 品 目：ブロッコリー、ねぎ、小菊 等

・ 目 標 取 扱 量：3,151 t/年

##### (2) 卸売市場（約 1,510 m<sup>2</sup>）

小ロットの農産物から集荷対応し、競り等を通じて市内小売店へ販売することで、地元農産物の消費推進・拡大を図る。地域密着型の利点を生かし、消費者ニーズへの素早い対応や地元野菜の情報発信によって消費量を拡大し、市場を活性化させる。これにより、生産者の生産意欲の向上や販売先の増加を図り、農業の活性化を狙う。

・ 導 入 設 備：集荷物管理用自動倉庫、梱包設備、製氷機、強冷冷蔵庫 等

・ 取 扱 品 目：野菜、果物全般

・ 目 標 取 扱 量：2,837 t/年（うち、地物 1,437t/年）

##### (3) 農産物加工施設（約 840 m<sup>2</sup>）

園芸作物の消費量が減少する中で、カット、パウダー、フリーズドライといった加工が可能な設備を整備し、増加する加工野菜の需要に対応することで販路の拡大を目指す。また、集出荷貯蔵施設、卸売市場と連携し、効率的な仕入れや規格外などの理由で販売価格の低い野菜を受け入れ加工販売することで、生産者の収入の増加を目指す。

・ 導 入 設 備：野菜加工設備、冷蔵・冷凍室、残さ処理設備 等

・ 取 扱 品 目：野菜全般

・ 目 標 取 扱 量：460t/年

※各施設の目標取扱量は、供用開始後 10 年目（令和 17 年度）の目標値

##### <市町村計画等>

#### 【南相馬市第三次総合計画】

政策の柱 4 産業・仕事づくり・移住定住

#### 7. 農林水産業

施策②担い手の確保・育成と効率的な生産基盤の整備

<p>取組方針：■農業・林業・漁業の担い手の確保・育成を進めます。          ■営農再開に向けた支援を継続します。</p> <p>主な取組例：●営農再開への支援</p> <p>施策②戦略的な生産と需要を創出する流通・販売の推進</p> <p>取組方針：■収益性の高い園芸作物等を振興します。          ■農業用施設と農産物流通拠点の整備を進めます。</p> <p>主な取組例：●園芸作物集出荷団地の整備</p>
---

**当面の事業概要**

<令和6～7年度>	建設工事、監理業務委託（基金型）	4,218,878 千円（第47回申請）
<令和6～7年度>	機械購入、システム開発 等（基金型）	2,021,083 千円（第49回申請）

**地域の帰還・移住等環境整備との関係**

南相馬市に拠点を持つ企業と連携し、既存の利用者の意見・要望を踏まえた上で、消費者ニーズに対応した高品質で高付加価値な農作物の集約的な集出荷を可能とする流通・加工機能を備えた設備を整備することで、生産者の労力・経済的負担の軽減、農作物の付加価値の向上、効率的で利便性の高い物流システムの構築及び消費者への情報発信を図り、南相馬市地域の農業の魅力を向上させる。

生産・消費を拡大させ、魅力的な農業経営としての南相馬市地域を知ってもらい、帰還者による営農再開を増やすだけでなく、農業に関心を持つ人の移住・新規就農がしやすい環境を整える。

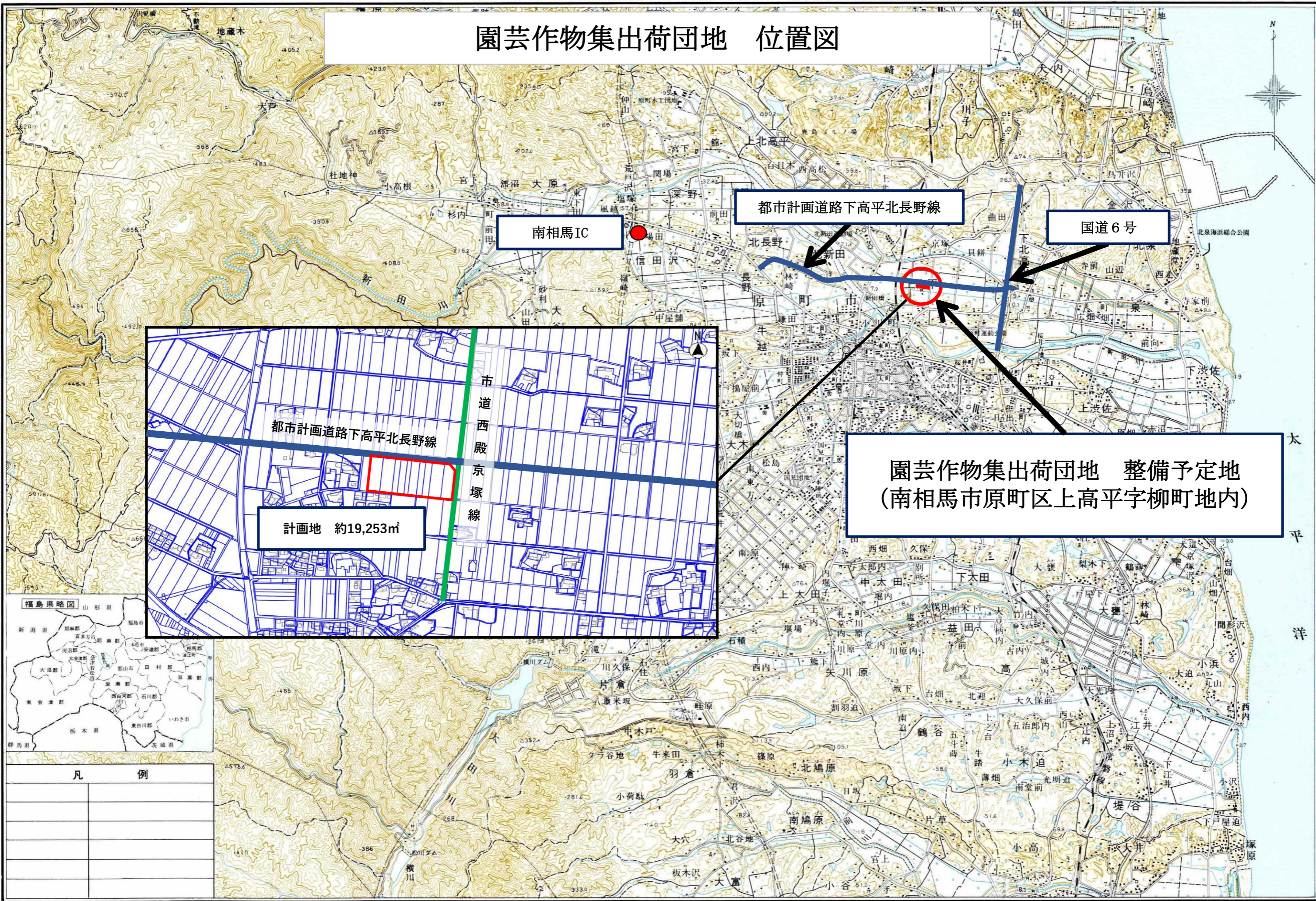
**関連する事業の概要**

○効果促進事業		
<令和4年度>	造成実施設計業務委託	29,777 千円（第41回申請）
<令和6～7年度>	造成工事（基金型）	715,601 千円（第46回申請）

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

<b>関連する基幹事業</b>	
事業番号	
事業名	
交付団体	
<b>基幹事業との関連性</b>	

# 園芸作物集出荷団地 位置図



凡 例	